

平成30年5月11日

豊都計審議案1～4 資料第1号

豊島区都市計画審議会（個別対応及び懇談会）

《個別対応》

希望者：長倉委員、野口委員

ご意見：▶高齢者ひとり暮らしの人に、再開発事業等の内容がちゃんと伝わっているか疑問である。準備組合では、どの程度状況を把握しているのか。状況を把握して、適切に対応していただきたい。

《懇談会》

日時：平成30年3月29日（木） 14時00分～15時30分

会場：豊島区役所9F第二委員会室

出席者：中林会長、中川委員、平賀委員、竹下委員、駒井委員、山口（利）委員
都市整備部長、地域まちづくり担当部長、土木担当部長、
都市計画課長、再開発担当課長

《懇談会での主な意見》

▶地権者からすると、自分の権利がどうなるか、自分の生活がどうなるか、今は何に対応すべきかが分からない状況が続いている。今の段階では具体的な対応はできないが、ある段階から、具体的な内容やスケジュールを示すことで、地権者の不安を和らげることが出来て、前に進む気がする。

▶これから相談が増えていくと思うので、丁寧な対応が必要である。区としては、本当に住み続けたい人に住み続けてもらえるようなまちづくりをしていかなければならない。

▶関係権利者の思いを反映できるように、行政、デベロッパー、区民とのコンタクトを密に行い、丁寧に進めていただきたい。

▶今回の反対意見のようなことは、この地区だけの問題ではなく、タワーマンション形式の再開発を今後どう考えていくかということだと思う。

▶権利床として自分の資産が残っていくことを、戦略的にアピールできないか。

▶駅直結の再開発はブランド性があるが、これからは都電直結もアピールポイントになると思う。

▶地域全体から見てC地区がどのような役割を担うのか。ということに加え、C地区の再開発がどのように地域に波及していくのか。という観点の説明も必要。

▶今までの説明だと、C地区の区域内の話だけで終わってしまっている。駅周辺のつながりの中で、C地区の再開発をどう考えているのか。C地区を含む池袋駅周辺エリア全体がどう変わっていくのか。ということをも5月の都市計画審議会では示したうえで説明した方がよい。